

～キャッチフレーズ～
あいさつ・チャレンジ・学び合い・笑顔あふれる水引小

校長 紀 章子

運動会で伸ばした力

五月の爽やかな風とともに、先日、第19回水引小中学校合同運動会を無事に開催できました。早朝より駆けつけてくださったご来賓・地域・保護者の皆様、バルーンゲート等で会場を華やかに彩ってくださった五郷会の皆様、そして温かい声援を送ってくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。開会式で私は「情熱を持って自らの限界に挑もう」と呼びかけました。本番、子どもたちが「fight with passion ～一致団結～」のスローガン通り、一生懸命走ったり、声を枯らして応援したりする姿は、まさに太陽より輝いていました。この運動会をとおして、どんな資質・能力を伸ばせたか考えてみました。

学校教育目標「たくましい」「心豊か」を伸ばす

「たくましい」という面では、目標に向かって何回も練習することで、運動能力を伸ばし、頑張りきる気力を持たせることができました。本番では、心も体も健康で頑張りきれた子どもの姿がありました。また「心豊かで」という面では、最後までやり遂げたという達成感や先生や地域・保護者の方々から「がんばったね」という称賛の言葉をいただき、子どもたちの「自分是可以る」という自己肯定感を持つことができました。小学生は中学生の背中に憧れ、中学生は下級生を導く責任を果たす、係の仕事で活躍すること等で運動会がスムーズに進められ、「誰かの役に立った」と自己有用感を感じたことでしょう。計画・練習・本番という過程の中で自尊感情を大きく育んだと確信しています。それぞれの力が独立して伸ばされたのではなく、心の面も身体の面も一つの行事を目標にやり遂げることで、繋がって伸ばされたと考えます。この合同運動会で生まれた「最高のエネルギー」を糧に、今後も地域と共に歩む学校として、子どもたちの可能性を伸ばしてまいります。



◇ 6月の行事予定 ◇

1日(月)	眼科検診	13日(土)	土曜参観、小中合同引渡し訓練、第5回学級対抗交流ソフト
3日(水)	防犯訓練(3校時)		バレーボール大会、運動会反省会
4日(木)	耳鼻科検診	15日(月)	家庭学習強調週間、ハンセン病を正しく理解する週間
	プール開き	18日(木)	景観学習(3・4年)*講師来校
5日(金)	給食残食調査~12日	19日(金)	内科検診
8日(月)	児童総会(3校時)	24日(水)	着衣泳(3~6年)
9日(火)	3・4年生社会科見学	25日(木)	着衣泳(1~2年)
10日(水)	(※お弁当準備)	26日(金)	プール清掃(5校時)
11日(木)	幼保小連絡会	29日(月)	食の訪問指導(4校時:3・4年、給食始動:3・4年)
		30日(火)	第19回薩摩川内市小学校綱引競技大会(12:40~)

~雑巾の寄贈 あいがとうございます~

今年度も「水引女性団体連絡協議会」の皆様より、手作りの雑巾20枚を寄贈していただきました。毎年の変わらぬ御支援に、心より感謝申し上げます。

いただいた雑巾は日々の清掃活動等で大切に活用し、地域の皆様への感謝の気持ちを子供たちと共有しながら、よりよい学校環境づくりに努めてまいります。



【大切にに使わせてもらいます。】

~その「当たり前」、誰かを傷つけていませんか?~

6月は、全国で「ハンセン病を正しく理解する週間」が設定されています。

かつてのハンセン病差別は、誤った偏見や恐れから特定の文脈の人々を排除した歴史です。これは現代のSNSにおける誹謗中傷や、学校での噂話による仲間外れと本質的に変わりません。

差別は悪意からだけでなく、「無知」や「無関心」からも生まれます。情報に流されない「確かな目」を大人が示していく必要があります。

子供たちが誰かの痛みに関心し、不当な排除に声を上げられる強さを育めるよう、学校と家庭で手を取り合っていきましょう。



~学校運営協議会が始動!!~

◎寺田 芳照 氏	○橋口 俊崇 氏
成松 哲郎 氏	桑原田 香 氏
中村 隆一 氏	時吉 正男 氏
森満 幸守 氏	竹田 満芳 氏
山元 一彦 氏	手打 直美 氏

*◎：会長、○：副会長

今年度の「水引中学校区学校運営協議会」がスタートしました。従来の会議形式を一新し、小グループで本音を語り合う「ワークショップ型熟議」を導入いたします。「ふるさとを愛し、未来に向かって主体的に生きる子供」の育成に向け、学校・家庭・地域が一丸となって歩んでまいります。

~交通安全教室を行いました~

5月20日(水)に、交通安全協会の方々を講師に迎え、交通安全教室を実施しました。

当日は、1・2年生が「基本的な道路の歩き方」、3~6年生が「自転車の点検方法」と新しく導入される「青切符(反則金制度)」について詳しく学びました。

かけがえのない命を守るため、御家庭でも自転車の乗り方や道路の歩き方について、いま一度声掛けをお願いいたします。

